

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 「森のようちえん」アワード推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 恵みの森づくり推進課 木育推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3035) E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,481千円 (前年度予算額：1,611千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,611	0	0	0	0	0	811	0	800
要求額	1,481	0	0	0	0	0	1,481	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・近年、自然の中での体験を通じて子育てに取り組む、「森のようちえん」活動が県内各地で盛んにおこなわれている。
- ・令和元年に美濃市において開催された、「森のようちえん全国交流フォーラム in ぎふ」を契機に、県内で森林空間を活用した自然保育を積極的に展開する団体を表彰し、ぎふ木育の更なる推進・深化に繋げる。

(2) 事業内容

①森のようちえんアワードの表彰 [801千円]

「ぎふ木育」の理念のもと、森林などの自然を活用した子育て・保育・幼児教育に取り組む活動のうち、他の模範となる優れた活動を行う団体・個人を表彰し、当該取組の社会的認知度の向上と普及を図る。

②ぎふ森のようちえんフォーラムの開催 [680千円]

森のようちえん活動団体、保育園、幼稚園、自治体関係者などを対象とし、講演会や交流会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が推進する「ぎふ木育」の発展に寄与することから、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	282	選考委員報償費
旅費	207	委員費用弁償及び業務旅費
消耗品費	707	表彰状、物品等
役務費	65	筆耕料、郵送料、電話料
保険料	20	イベント保険
委託費	200	会場設営費
合計	1,481	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・長期構想

IV-1 森・川・海をつなぐ清流とふるさとの自然を守る

- ・森林がもつ水源かん養機能など多面的な機能を維持・増進し、健全で豊かな森林をつくる取組を進め、岐阜県の自然と水源を守る。

・第三期 岐阜県森林づくり基本計画

(3)人づくり及び仕組みづくりの推進

(2) 国・他県の状況

国においては、同様の制度は無し。

(3) 後年度の財政負担

事業期間 (R元～R3)

(4) 事業主体及びその妥当性

県内の活動する団体を表彰する経費であり、県直営が妥当である。

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

県内の森林空間を活用し、積極的に森のようちえん活動を実施する団体の表彰や、交流研修会を通じて、ぎふ木育の普及を進め、県民協働の森林づくりを推進する。

(目標の達成度を示す指と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
表彰団体数	0 ()	(H)	(H)	3 (R1)	9 (R3)	33%

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

令和元年11月に開催した「森のようちえん全国交流フォーラム in ぎふ」において他の模範となる取組を実施している3団体を表彰した。

(前年度の成果)

令和元年11月に開催した「森のようちえん全国交流フォーラム in ぎふ」において、「森のようちえん」を積極的に活動している団体を表彰することにより、森のようちえんの取組が県内外へ普及啓発が図られた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い	
(評価) ○	県内で盛んに活動している「森のようちえん」について、積極的に活動している団体を表彰し、広く普及啓発することで、更なる県内全域への普及を推進するため、支援を進める必要がある。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	森のようちえん活動を行う団体の表彰や交流会を通じて、活動の社会的認知度向上と普及、参加者の知識向上が図られるなど、県内へ広く普及効果が得られている。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価) ○	森のようちえん活動を行う団体や個人で組織される「ぎふ 森遊びと育ちネットワーク」へ木育交流会の運営業務を委託するなど、事業の効率化を図っている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 森のようちえんの活動場所の確保、活動における安全対策

(次年度の方向性)

・ 令和元年度から令和3年度まで、3か年かけて実施する。
